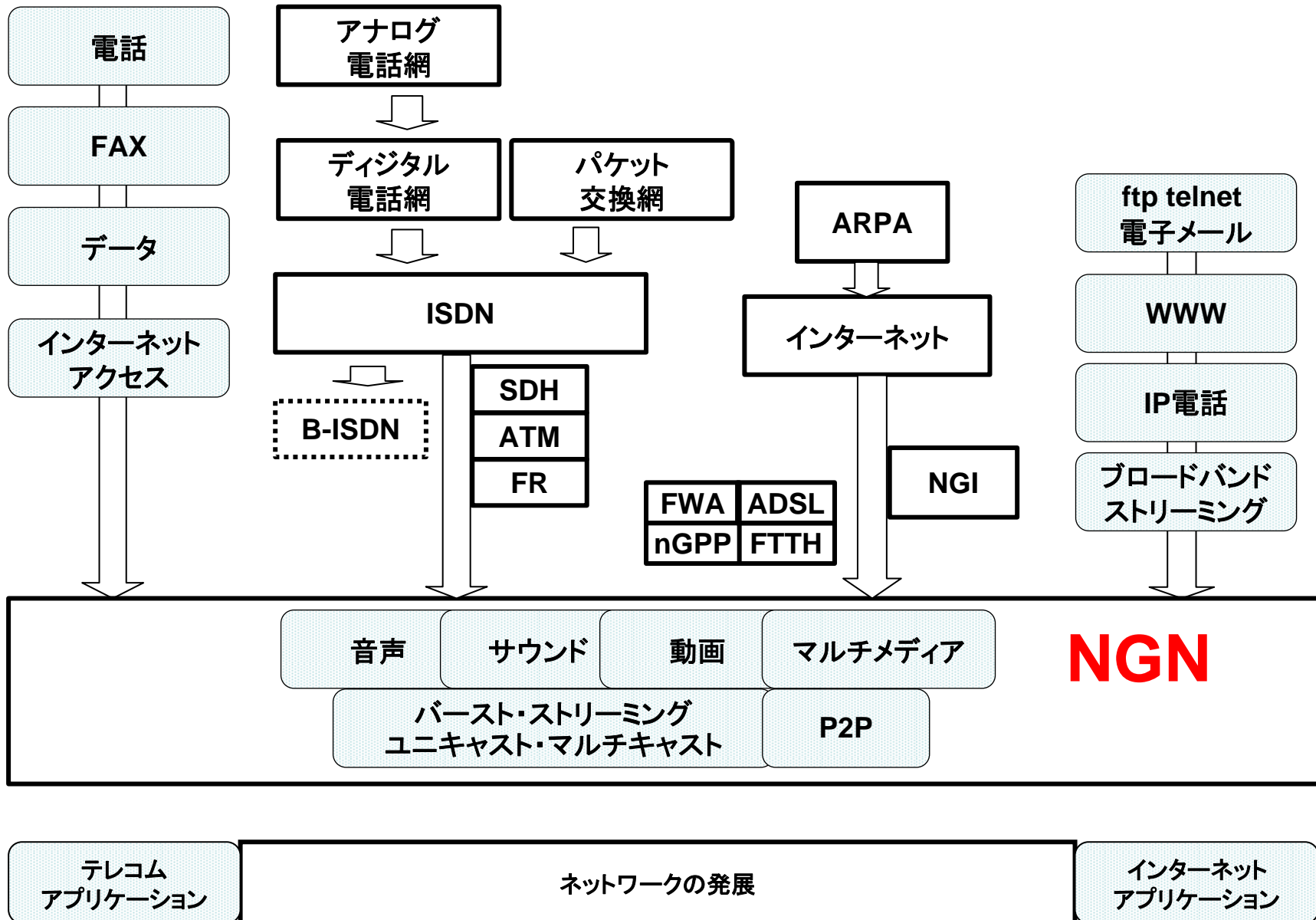


我が国におけるNGN標準化 の重要性

浅谷耕一

次世代IPネットワーク推進フォーラム
研究開発・標準化部会 部会長

ネットワークとアプリケーションの展開



NGNとは

目的:

ブロードバンドでQoS制御可能な電気通信サービスの提供

アーキテクチャ:

パケットベース(=IPベース)ネットワーク

サービス関連機能と(IP)転送技術とは独立

アクセス:

利用者による自由な選択可能なアクセスの提供

ネットワークアクセス

競合サービスプロバイダとその提供サービスへのアクセス

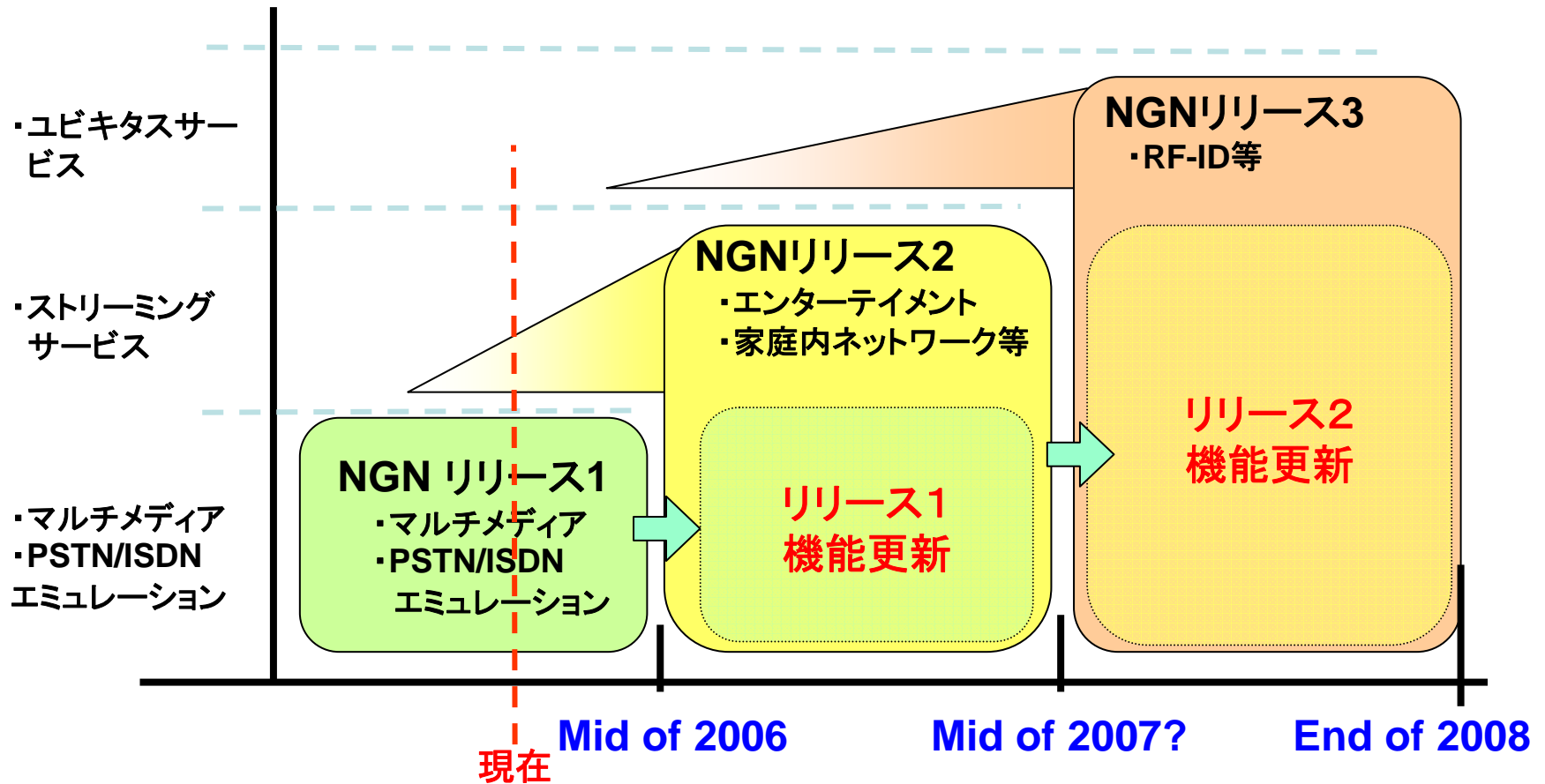
プラットフォーム:

FMCを含む汎用モビリティ

ユビキタス

NGN標準化リリースアプローチ

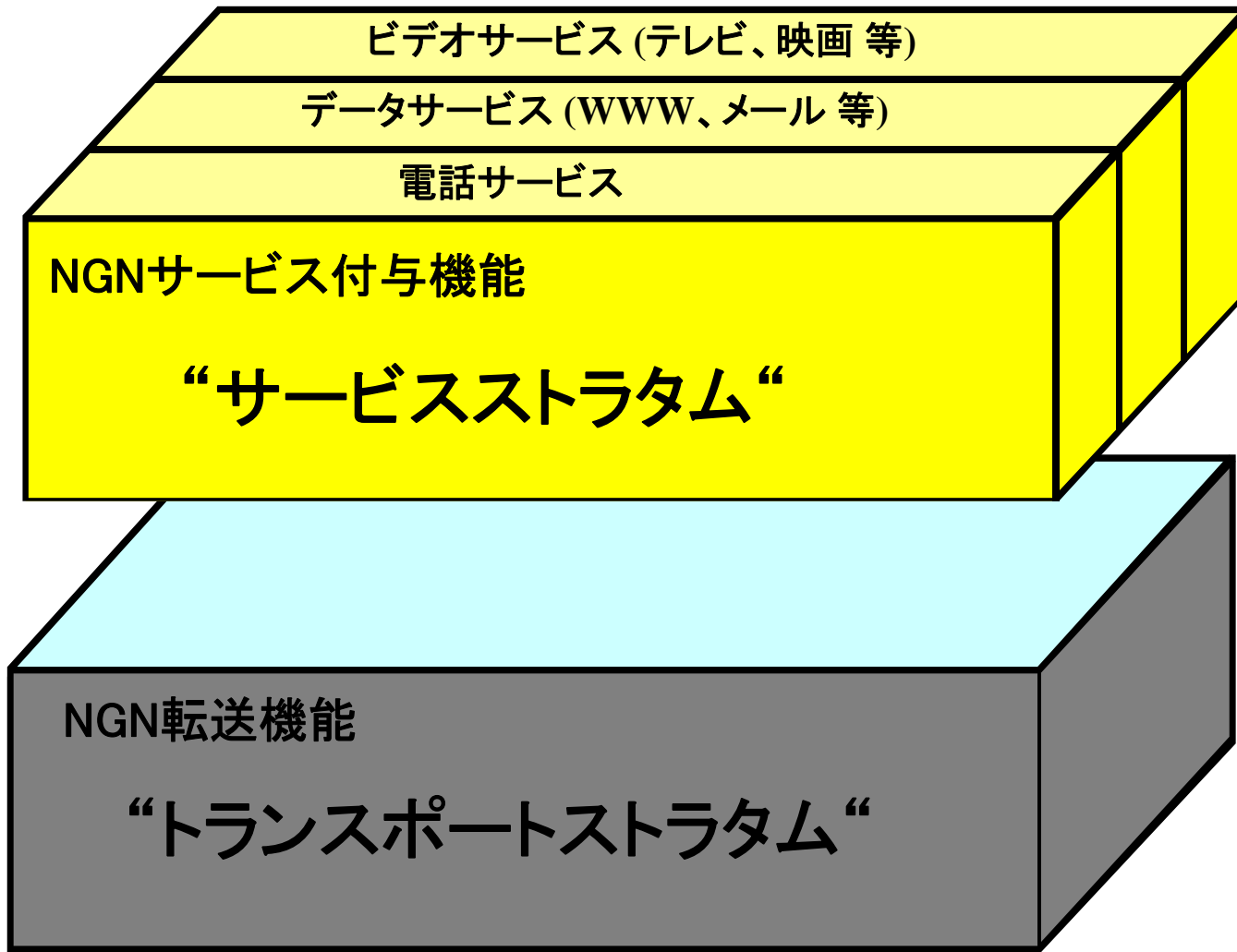
サービスと能力(機能)



NGNリリース1の提供サービス

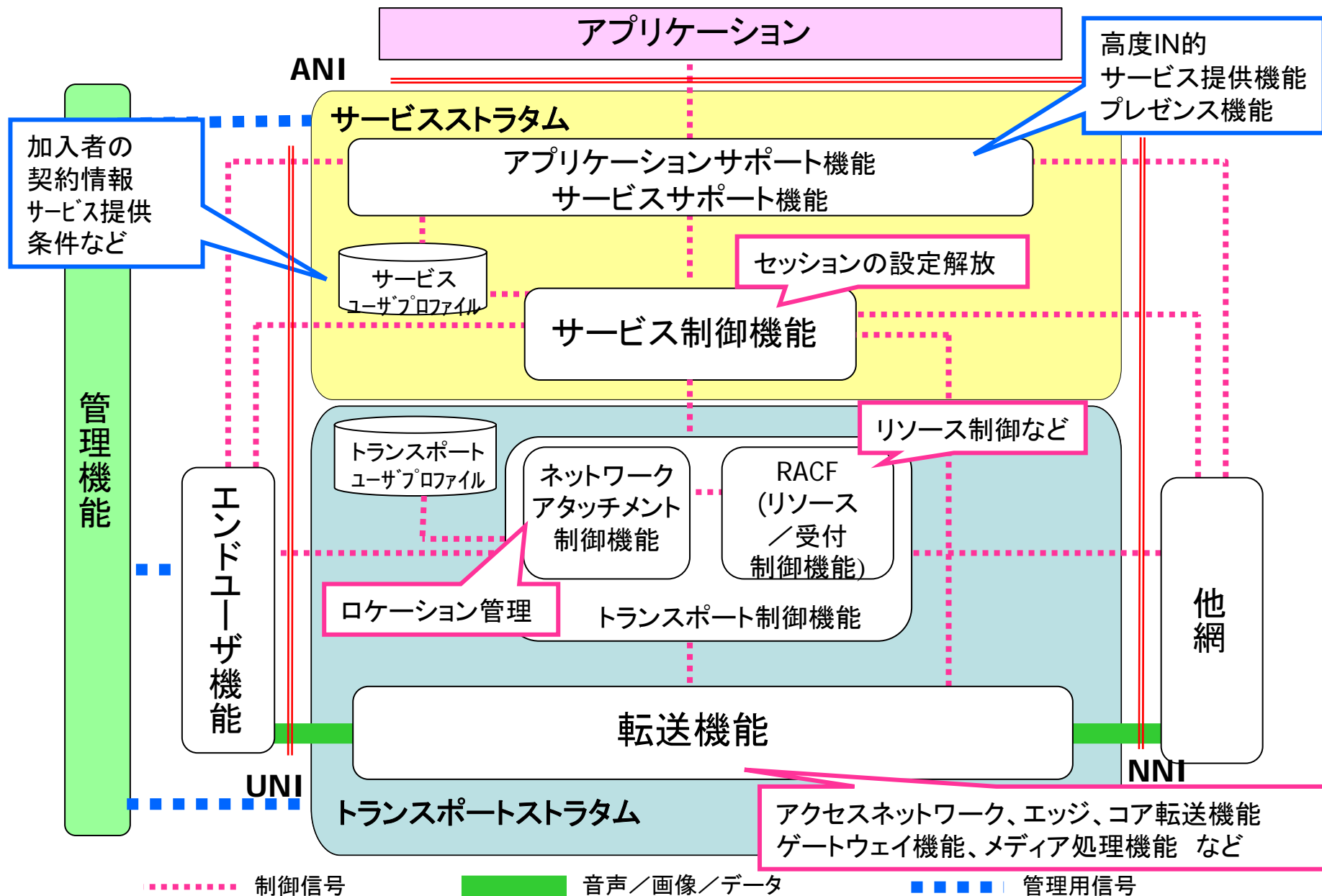
	サービスタイプ	概要
1	マルチメディアサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム会話型音声サービス(既存の固定電話網や移動網との相互運用が可能) ・プレゼンス/通知サービス ・メッセージングサービス(IM、SMS、MMS等) ・プッシュツートーク ・ポイント・ツー・ポイント双方向マルチメディアサービス(テレビ電話等) ・協調型双方向コミュニケーションサービス(ファイル共有やアプリケーション共有などの機能を持つテレビ会議、eラーニング等) ・コンテンツデリバリーサービス(映像などのストリーミング、VOD、MOD等) ・プッシュ型サービス ・ブロードキャスト/マルチキャストサービス ・企業向けホスティングおよびトランジットサービス(IPセントレックス等) ・情報サービス(高速道路交通情報等) ・ロケーションサービス ・3GPP Release 6/3GPP Release A OSAベースサービス
2	PSTN/ISDNエミュレーションサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・PSTN/ISDNと同等なサービスとインタフェースを、IPのインフラを用いて提供するサービス
3	PSTN/ISDNシミュレーションサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・PSTN/ISDNライクなサービスを、IP上のセッション制御を用いて提供するサービス
4	インターネットアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・従来どおりのインターネットアクセスを提供するサービス
5	他のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・VPNサービス ・データ検索アプリケーション(tele-software等) ・データコミュニケーションサービス(ファイル転送、Webブラウジング等) ・オンラインアプリケーション(オンライン販売、eコマース等) ・センサネットワークサービス ・リモート制御/tele-actionサービス(ホームアプリケーション制御、テレメトリー、警報等) ・OTN(Over-the-Network)デバイス管理
6	公衆サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・通信傍受 ・緊急通信 ・障害者のサポート ・ネットワーク/サービスプロバイダ選択 ・特定着信拒否 ・悪意呼の追跡 ・ユーザ識別子の提供

NGN基本アーキテクチャ

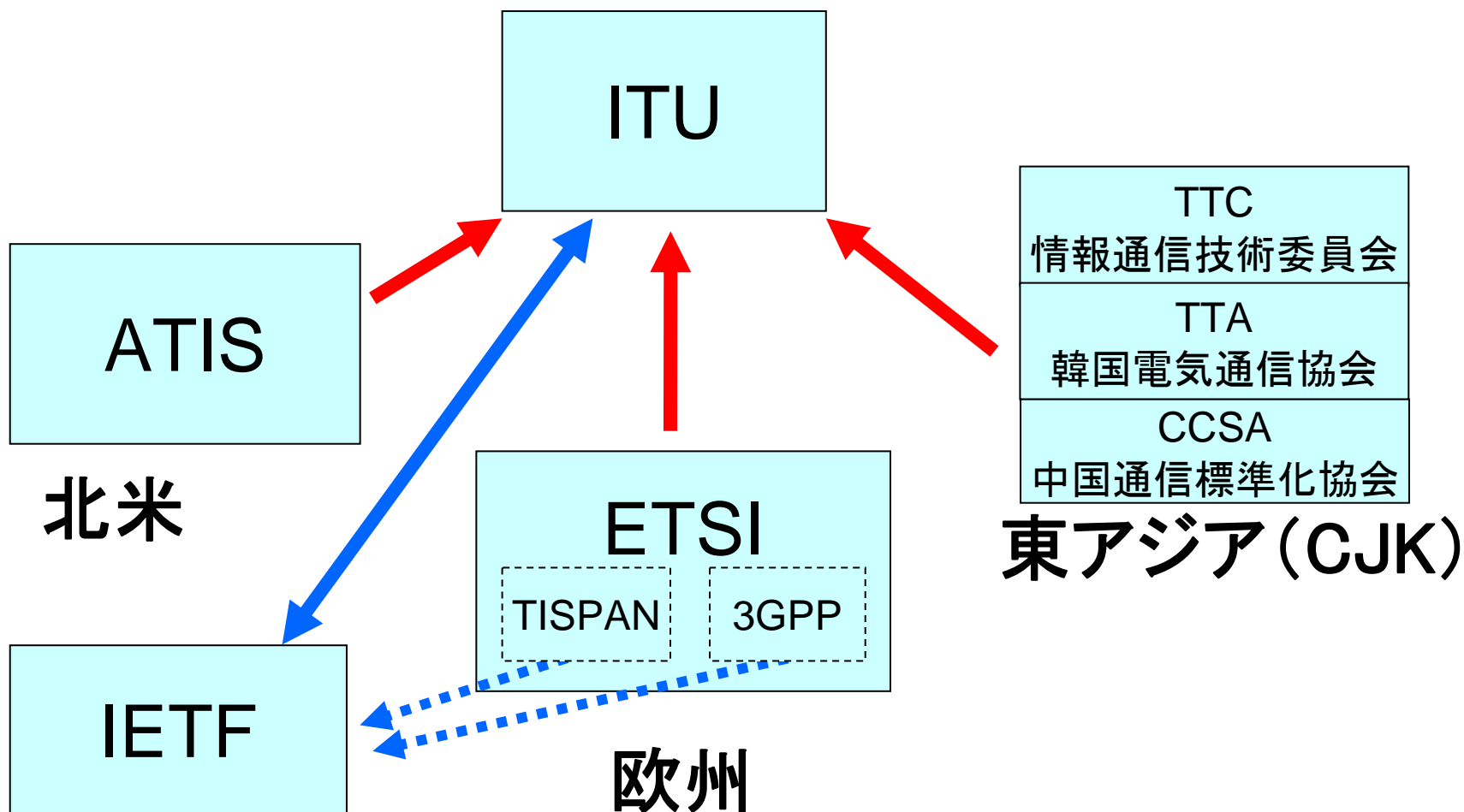


ITU-T勧告Y.2011 次世代NWの一般原則と一般参照モデル

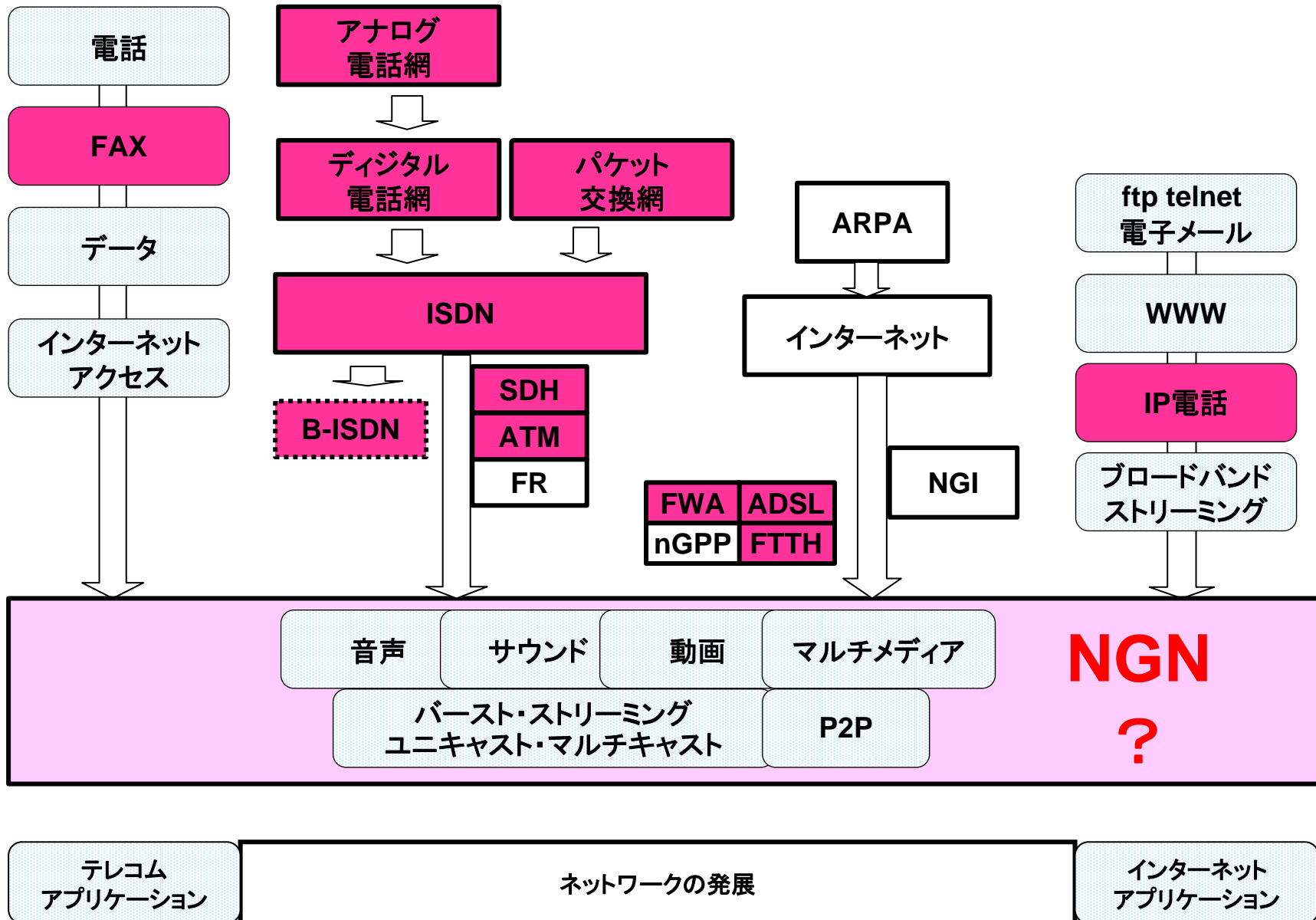
NGNアーキテクチャ



NGN関連標準化機関



ネットワークとアプリケーションの展開



研究開発・標準化戦略上のポイント

- 技術先導性
- 外国におけるプレゼンス
 - 国際標準化機関、国際学会
- 適切な土俵選択
- 戦略と戦術
- 世界の中の日本
 - 日本がやらねばならないこと
 - 日本ができること
 - 日本に期待されていること ノブレスオブリジ

課題

- 情報通信における世界の中の日本
- ITU-Tにおける中国、韓国のプレゼンス増大
 - アジア・ヨーロッパ・米国第三極化
- ノブレスオブリジ
- 主張と切り代
 - 全面勝ちはない
 - 歩み寄り
- 標準化ただ乗り論
- 人材